

## 指針に基づく情報公開

放射線影響研究所では、個人情報保護法に基づく研究倫理指針を遵守し、この研究については、対象となる方のお一人ずつに直接説明を行い同意を得る代わりに、情報を公開することにより試料・情報を利用させていただいています。

研究成果は学会や学術誌等で発表されますが、お名前、ご住所などの情報が公表されることはありません。

ご自身または代諾者等が、試料・情報をこの研究に使用してほしくないと思われる場合、研究計画の概要をご覧になりたい場合、その他研究に関することは「問い合わせ先」へご照会ください。ご照会された場合でも、なんら不利益を受けることはありません。

研究計画書番号	RP-P1-23	研究期間	2025年1月31日まで
研究課題名	試行調査；慢性骨髄性白血病剖検例の FFPE 標本から抽出した DNA/RNA を用いたターゲットシーケンス解析の実現性		
研究責任者（所属）	吉田稚明（放射線影響研究所）		
試料・情報の利用目的及び 利用方法	利用目的： 原爆被爆者では、がんの罹患リスクが増えています。中でも白血病は特に放射線被曝により発症する割合が増える疾患と考えられています。白血病は遺伝子の異常が蓄積することで発症することが明らかになりつつありますが、原爆放射線被曝による白血病の発症機構は不明です。今回の解析では、1950年から1980年までに原爆被爆者に白血病として最も多く発症した慢性骨髄性白血病に注目し、原爆放射線被曝による白血病発症機構の解明を目指します。これらの結果は、今後放射線被曝者の医療において白血病早期診断マーカーとして用いることができる可能性があります。 利用方法： 慢性骨髄性白血病と診断され、当所で剖検された試料から抽出した DNA および RNA を使用します。慢性骨髄性白血病を含む造血器腫瘍で現在認められている遺伝子の異常（体細胞変異）の有無について評価を行います。一部の解析は外部の検査機関に委託し行われます。調査対象者は匿名化され、個人が特定されることはありません。		
他の機関への提供の有無	<input type="checkbox"/> 有 提供先機関名： <input checked="" type="checkbox"/> 無		
利用し、又は提供する 試料・情報の項目	●利用する試料 放影研で保管されている病理試料（ABCC TR4-61 および放影研 RP 3-75 に基づく病理学的調査で剖検し、保管） ●利用する情報 （ア）放影研が保有する情報： ● 性別、生年月、診断名、診断年月、剖検記録に記載されている検査所見および治療歴（ABCC TR4-61 および放影研 RP 3-75 に基づく病理学的調査で収集）、		

	<ul style="list-style-type: none"><li>● 骨髄被ばく線量 (1 ミリシーベルト単位で丸めたもの) (個人への聞き取り調査の情報に基づき被曝線量評価システムで算出)</li></ul> (イ) 病理試料を用いたシーケンス解析により得られた遺伝子異常の結果 2023年1月5日から利用を開始しています。
利用する者の範囲	放射線影響研究所 吉田稚明 加藤直広 杉山裕美 今泉美彩 大石和佳
試料・情報の管理に責任を有する者の氏名又は名称	放射線影響研究所 臨床研究部 吉田稚明 放射線影響研究所 情報技術部 小野 悟
統括個人情報保護管理者	放射線影響研究所 業務執行理事 児玉和紀
問い合わせ先	<b>【研究担当者】</b> 氏名：吉田稚明 公益財団法人 放射線影響研究所 臨床研究部 住所：広島市南区比治山公園 5 番 2 号 TEL：082-261-3131